

令和7年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22012	事業名	水道施設耐震化整備事業				評価分類	A1	
	事業手法	☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()								
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上			予算科目	会計	11:水道事業会計		
		基本施策	03:上下水道の充実				款	資1:資本的支出		
		施策の方向	01:安全でおいしい水の安定供給				項	01:建設改良費		
	重点プロジェクト	03:「しなやか田園都市」プロジェクト				目	01:施設費			
	事業期間	R 1 年度 ~ R 9 年度		主な根拠法令等		水道法				

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	地震災害等により断水となると市民生活等に与える影響が大きいことから、平常時はもとより、震災等の非常時においても一定の給水を確保する必要があるため、新水道ビジョンに基づき水道施設(管路・浄水場・配水池等)の耐震化を図り、被害の発生を抑制し、影響を極力小さくする必要がある。	市民	水道施設の耐震化を進め、地震災害等の被害の低減を図ることにより、非常時においても一定の給水を確保する。また、二次災害を未然に防止するとともに、緊急遮断弁を設置し非常用飲料水を確保する。	基幹管路である水源地从配水池を経由し、地区の主要部までの経路や、指定避難所や災害対策本部等の重要施設までの経路の水道施設の耐震化を行う。なお、水道施設簡易耐震診断の検証結果や被災時に与える給水の影響範囲等を考慮し、耐震化を進める。また、地震災害等における二次災害を未然に防止するとともに、断水時においても応急給水が対応できるよう主要配水池に緊急遮断弁を設置する。

③ 事業の実施状況 (P・D)	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	事業計画		○基幹管路耐震化整備 ・第1水源系 ○緊急遮断弁整備 ・関第2水源系		○緊急遮断弁整備 ・第1水源系		○基幹管路耐震化整備 ・第1水源系		○基幹管路耐震化整備 ・第1水源系		
	活動実績 (計画通り実施できたか)		第1水源系は、延長75.8mの基幹管路耐震化工事を行った。また、詳細設計業務委託では、鉄道横断箇所になることから、関係機関である西日本旅客鉄道(株)と計画協議を行っていたが、協議に時間を要したため、委託業務の発注が遅れたことにより、年度内に完了することができなかった。関第2水源系においては、緊急遮断弁を1基設置し、危機管理体制の拡充を図った。		令和4年度から繰越した委託業務を完了させた。また、令和5年度工事は、半導体不足の影響や追加工事の材料手配等に日数を要したことから、年度内の工事完成ができず、繰越した。 【令和6年3月末時点の進捗率】 緊急遮断弁設置工事 50% 緊急遮断弁室配水管布設工事 85%		令和5年度から繰越した緊急遮断弁設置工事を完了させた。また、鉄道事業者との協定締結に日数を要したため、関連工事の発注に遅れが生じたことから、年度内の工事完成ができず、繰越した。 【令和7年3月末時点の進捗率】 緊急遮断設置工事 100% 送水管・立坑工事 3% 送配水管布設(立坑)工事 0% JR軌道下推進工事業務委託 1%		令和6年度から繰越して実施していた送水管・立坑工事、送配水管布設(立坑)工事およびJR軌道下推進工事業務委託が完成し、さらに令和7年度の送水管布設工事についても完成した。 【令和8年3月末時点の進捗率】 (令和6年度繰越分) 送水管・立坑工事 100% 送配水管布設(立坑)工事 100% JR軌道下推進工事業務委託 100% (令和7年度) 送水管布設工事 100%		
	計画額	事業費	事業費	130,000千円	104,000千円	65,000千円	37,000千円	104,400千円	91,990千円	152,600千円	232,009千円
			国・県支出金		0千円						
			地方債		0千円						
			その他		0千円			8,000千円		12,000千円	20,000千円
			一般財源	130,000千円	104,000千円	65,000千円	37,000千円	96,400千円	91,990千円	140,600千円	212,009千円
	決算額	事業費	事業費		73,877千円		36,388千円		91,582千円		181,395千円
			国・県支出金		0千円		0千円		0千円		0千円
地方債				0千円		0千円		0千円		0千円	
その他				0千円		0千円		0千円		19,895千円	
一般財源				73,877千円		36,388千円		91,582千円		161,500千円	
①期間内計画額(R4-7)		452,000千円		②期間外計画額(R8-)		186,000千円		①+②総計画額		638,000千円	

(令和7年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	79,409千円
当年度の最終予算額	152,600千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	基幹管路の耐震化率	基幹管路耐震化済延長/基幹管路総延長	成果	%	計画値	20	20	20	21
					実績値	20	20	20	21
	主要配水池への緊急遮断弁の設置施設数	主要配水池への緊急遮断弁の設置数	成果	施設	計画値	1	1		
					実績値	1		1	
					計画値				
					実績値				

⑤ 成果 (C)	判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
	A	第1水源地からJR軌道下までの基幹管路の耐震化が完了したことで、地震発生時の被害低減と、一定の給水を確保するための体制整備が着実に前進した。
十分な成果を得た		

事業の対象	事業の目的
市民	水道施設の耐震化を進め、地震災害等の被害の低減を図ることにより、非常時においても一定の給水を確保する。また、二次災害を未然に防止するとともに、緊急遮断弁を設置し非常用飲料水を確保する。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	基幹管路の耐震化率は令和7年度末で21.2%に達し、計画をわずかに上回る進捗となっているものの、全体の完了までには依然として長期間を要する状況にある。現在の課題としては、資材価格等の高騰により事業費が増加していることに加え、限られた年間予算の中で耐震化を進めていく必要があることが挙げられる。このため、上下水道耐震化計画に基づき優先順位を付けながら、限られた財源を効果的に活用し、社会情勢の変化にも柔軟に対応しつつ、計画的かつ継続的に耐震化を推進していく必要がある。

⑦ 事業の展開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和8年度で対応する(した)もの	令和9年度以降で対応するもの
	上下水道耐震化計画に基づき、上水道施設の急所施設(亀山配水池耐震設計)や重要施設までの管路(布気町及び若山町)の耐震化を実施する。	上下水道耐震化計画に基づき、上水道施設の急所施設(亀山配水池耐震工事)や重要施設までの管路(羽若町から亀山医療センター)の耐震化を計画的に推進していく。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	B	B	B	A
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)

【履歴】

1次評価者	上下水道部 上水道課 上水道工務GL 岡本 隆之
最終評価者	上下水道部 上水道課長 高沢 直